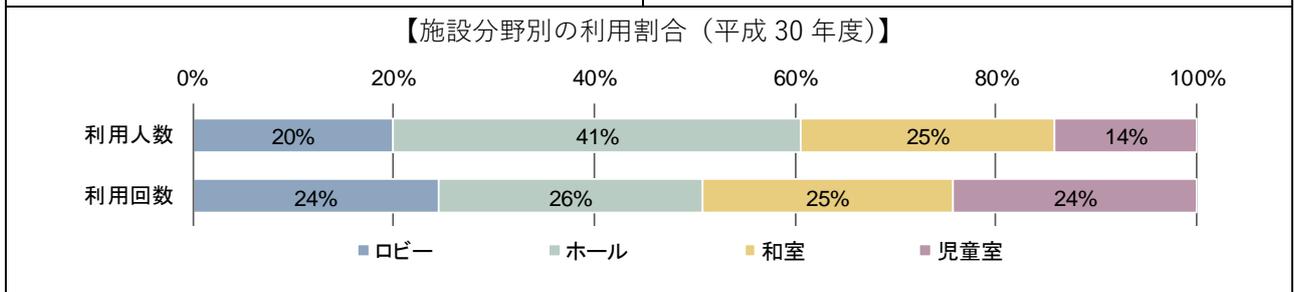
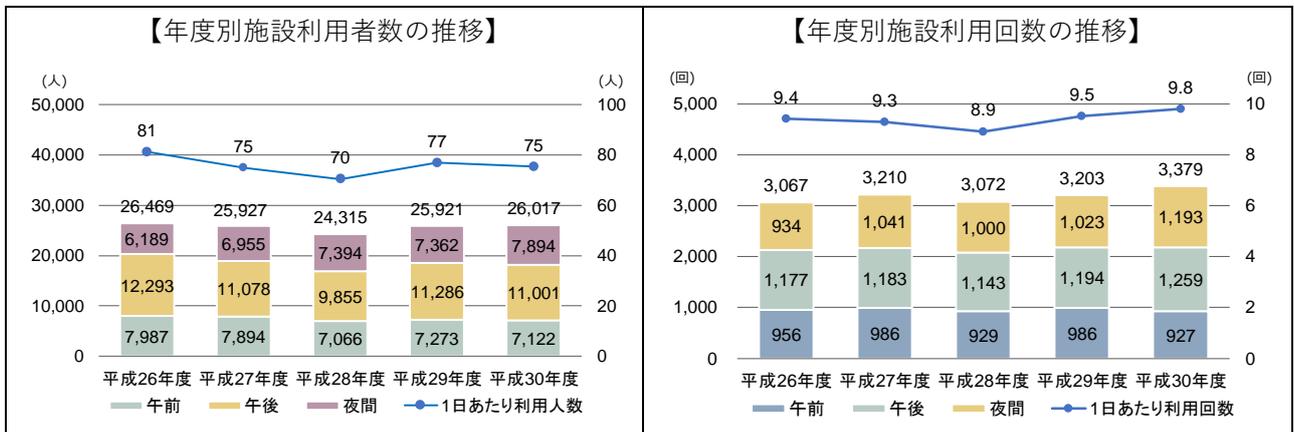


# 吉祥寺東コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成 30 年度の利用者数（総数）は 26,017 人であり、1 日あたりの利用人数は 75 人（開館日数:345 日）であった。過年度と比較すると、過去 3 年間の利用者数（総数）は若干であるが増加傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成 30 年度で 3,379 回、1 日あたり利用回数は 9.8 回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではいずれの施設（部屋）分野も同程度の割合であった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「文化・芸術」「福祉（高齢者向け）」であった。



【利用団体の活動部分野】			
（◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある）			
1. スポーツ（ヨガを含む）	○	6. 福祉（高齢者向け）	◎
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	○
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	○
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	○
5. 子育て	○	10. まちづくり	○
その他：娯楽（カードゲーム）、学習・勉強（英会話、習字）、会議（商工会議所、高校文化祭打ち合わせ）等			

## (2) 主な事業

①事業名	つどい
②事業概要	開館以来、毎月第四木曜日（ここ数年）開催を原則に毎月開催してきた。地域の環境、交通、子ども問題等様々な問題を取り上げ話し合う場としてスタートした。誰もが自由に参加して対話する場として設けており、近年では身近なテーマから世界規模のテーマまで地域住民に関心を持ってもらえるようなテーマで実施している。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：0人
④実績	実施回数：12回 参加人数：259人 事業費：50千円
⑤施設	ホール

①事業名	アジアを知ろう
②事業概要	昭和63年（1988年）より、「アジアを知ろう」をテーマに講演会を企画・運営してきた。講師には主として大学の先生方を招き、歴史、生活、政治、経済そして日本との関係について講演いただいている。また、当該国の食べ物（スイーツが多い）を担当運営委員が作り、休憩時間に参加者に提供するなどの工夫をしている。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：0人
④実績	実施回数：2回 参加人数：75人 事業費：25千円
⑤施設	ホール

①事業名	九浦の庭の生きもの探し
②事業概要	子ども事業の一つとして、「九浦の庭」において、運営委員でもある虫博士 小峰光弘さんが小学生や幼稚園児を対象に、虫探し体験と生き物について学ぶ機会を提供している。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：0人
④実績	実施回数：1回 参加人数：17人 事業費：5千円
⑤施設	庭とホール

①事業名	私たちのまち企画
②事業概要	地域住民に地域のことを知ってもらうとともに地域に参加するきっかけをつくることを目的に、「私たちのまち企画」を年に数回開催している。具体的には、下記のような自主企画事業を実施している。「つどい」にやや似たテーマもあるが、まち企画は住人自らの参画・行動に重きを置いている点が特徴である。 ①九浦の庭での七夕飾り、②貝ノ瀬滋さんを招いての教育シンポジウム、③エコプラザについて考える、④九浦の家のお茶会、⑤東町の緑を見て歩こう、⑥ふるさと歴史館に行ってみよう
③体制	運営委員：11～15人 協力員：0人
④実績	実施回数：6回 参加人数：134人 事業費：30千円
⑤施設	-

①事業名	新春餅つき&かるた大会
②事業概要	毎年1月末に「新春餅つき&かるた大会」を開催している。55kgのもち米を2つの臼でつき、数種類のつきたての餅を参加者に振る舞うこの餅つき会は他コミセンにあり当コミセンにはない「文化祭」に代わる地域住民交流の場である。当事業は当コミセンで数少ない、利用者や地域諸団体が一堂に集まる重要な事業の一つになっている。
③体制	運営委員：11～15人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：1回 参加人数：600人 事業費：82千円
⑤施設	庭、ホール、和室等全館

## (3) コミュニティセンター活動体制

- 平成30年度時点の運営委員数は40名であり、協力員数は12名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】利用状況については団体利用が多い。</p> <p>【工夫している点】団体の2回目以降の利用には団体登録をしてもらっている。コミセンの利用申込手続きを簡素化し、次回以降の利用促進を図っている。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】普段コミセンを利用する機会が少ない方も参加しやすい事業（イベント）を検討している。</p> <p>【工夫している点】事業の一つである新春餅つき大会では、普段コミセンの利用が少ない方も多く参加し、地域行事に参加するきっかけになっている。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】寄贈をいただいた美術作品を多数展示し、利用者が作品に触れあう場を提供している。</p> <p>【工夫している点】小規模施設であり、ホールも60名程度しか収容できないが、隣の児童室も合わせて使うことによって、できるだけ広いスペースを確保している。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】コミセンの情報について、地域の掲示板への掲載に加えて、域内の約6900戸への全戸配布を行っている。</p> <p>【工夫している点】コミセン事務室に箱を用意して、地域のニュースを入れていき、運営委員で共有している。</p> <p>【特筆すべき成果】地域に関心を持ってもらうために、コミセンの行事に関する情報だけでなく、地域・まちの情報やニュース、吉祥寺東町在住や、ゆかりのある方を紹介している。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

利用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり	<p>【現状】利用者懇談会等、一堂に会して利用者から意見を聞くという事はあまり行っていない。窓口でのコミュニケーションによって意見等を吸い上げている。</p> <p>【工夫している点】利用者からの要望に応じて、登録団体との仲介を行い、つながりを創出している。</p>
地域とコミセンの つながりづくり	<p>【現状】利用者や地域諸団体が一堂に集まり、地域住民交流の場として新春餅つき&amp;かるた大会を実施している。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

運営委員・協力員の 人材充実	<p>【現状】コミセンだよりの編集は大部分を特定の運営委員が担っている。校正などは他の役員も担っているが、今後同じものを継続していけるような体制を築けるかが課題である。</p>
持続可能な事業の 実施	<p>【現状】概ね安定的に事業を実施している（これまで組織的な体制などが原因で事業数を減らしたことはない）。</p> <p>【工夫している点】昭和49年からほぼ毎月続いている「つどい」は、基本は地域課題の解決に向けてどなたでも参加できる事業。地域の課題を月に1回は話し合うというコンセプトで現在まで続いている。</p>
活発な協議会運営	<p>【現状】運営委員会を毎月1回継続的に実施している。そのほか、会則に役員会についての記載を追加し、役員会も月に1回行うほか、頻繁に臨時役員会も開催している。</p> <p>【工夫している点】自己点検・評価表を作成する際には、臨時運営委員会を開催し、基本的には運営委員の総意によって作成を行っている。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

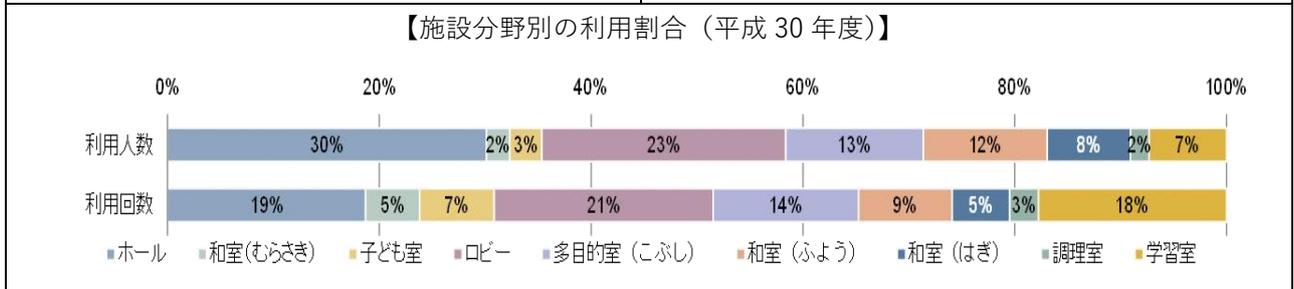
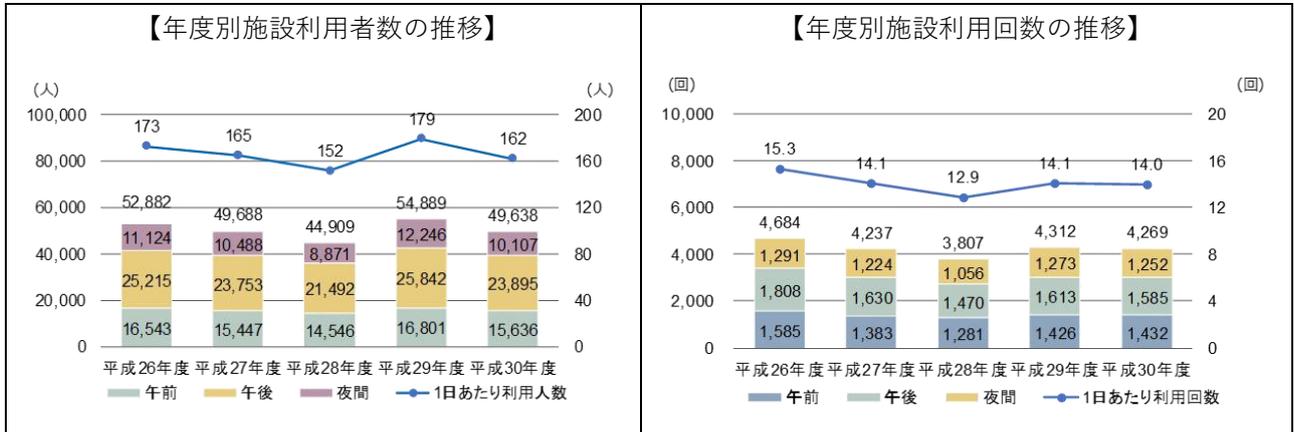


# 本宿コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成30年度の利用者数（総数）は49,638人であり、1日あたりの利用人数は162人（開館日数:306日）であった。過年度と比較すると、過去3年間の利用者数（総数）は若干であるが減少傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成30年度で4,269回、1日あたり利用回数は14.0回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではロビー、ホール、学習室が他に比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「スポーツ」「文化・芸術」であった。



【利用団体の活動部分野】 (◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある)			
1. スポーツ (ヨガを含む)	◎	6. 福祉 (高齢者向け)	○
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉 (障害者向け)	○
3. 緑・環境		8. 防犯・交通安全	
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	○
5. 子育て	○	10. まちづくり	
その他：			

## (2) 主な事業

①事業名	コミセン祭り
②事業概要	地域住民・コミセン利用者を対象に、子どもから大人まで楽しめる、そしてコミセンに親しみを持ってもらえる様な企画を準備している。地域のボランティアの協力を得て開催しており、普段コミセンで練習している利用者や地域団体等の発表や作品展示も行っている。
③体制	運営委員：21人以上 協力員：21人以上
④実績	実施回数：1回 参加人数：700人 事業費：230千円
⑤施設	全館

①事業名	コンサート
②事業概要	地域住民に生の良質な音楽を提供することを目的に開催している。ピアノ、声楽、チェロ、バイオリンなどのクラシックを中心に、幅広く、三線（さんしん）、ビッグジャズバンド、サルサ、ハンドベルなどの演奏会を開いている。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：0人
④実績	実施回数：1回 参加人数：70人 事業費：130千円
⑤施設	1Fホール

①事業名	こども劇場
②事業概要	幼児・小学校低学年対象として、人形劇、パントマイム、影絵などの上演を行っている。例年の開催時期が近付くと電話で問い合わせがあるほど認知されており、親子で好評を得ている。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：0人
④実績	実施回数：年1～2回 参加人数：各100人 事業費：100千円
⑤施設	1Fホール

①事業名	本宿ギャラリー
②事業概要	プロ・アマ、個人・団体を問わず、絵画・書・写真・手芸品など、自分の作品を発表する場所として開設している。広いスペースではないが、ギャラリーを介して新しいコミュニケーションが生まれ、たくさんの方に足を運んでもらえることを期待している。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：0人
④実績	実施回数：15回 参加人数：105人 事業費：32千円
⑤施設	1Fロビー

## (3) コミュニティセンター活動体制

○ 平成30年度時点の運営委員数は20名であり、協力員数は45名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】住民総会や利用者懇談会で利用者からの意見を吸い上げ、その後の運営委員会等で検討している。</p> <p>【工夫している点】コミセン利用における優先予約の対象エリアを小学校学区域に合わせ、地域の要望に合わせて柔軟に対応している。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】様々な世代が利用しているが、特に子育て世代の来館を今後は増やすと検討している。</p> <p>【工夫している点】子ども向け事業（子ども劇場等）を行い、小学校低学年くらいの子どもが多く参加している。事業をきっかけに、子育て世代の利用促進に向け取り組んでいる。</p> <p>【特筆すべき成果】新しい事業（背骨コンディショニング等）を実施したことで、普段コミセンあまり来られない方たちの参加につながった。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】1階はガラス張りの部分が多い造りとなっている。</p> <p>【工夫している点】ロビーの一部を「本宿ギャラリー」とし、小学生の作品等を展示している。ギャラリーは常設で2週間ごとに作品を入れ替え、地域から親しまれている。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】コミュニティだより（年3回発行）やホームページによって、広く広報をしている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<p><b>利用者・利用団体と</b> コミセンとのつながりづくり</p>	<p>【現状】 コミセン祭りの開催では、普段利用している団体・個人の協力によって、継続的な交流を生み出すことができている。また、利用団体の発表会では、他の団体も鑑賞し、交流が生まれている。</p> <p>【工夫している点】 コミセンを練習場所に使用していた成蹊大学のマジシャンズクラブや、絵本の読み聞かせイベントに参加していた団体に声をかけ、コミセン祭りで手伝いをしてもらえたなど、連携の幅を広げている。</p>
<p><b>地域とコミセンの</b> つながりづくり</p>	<p>【現状】 主催事業だけではなく、広く共催事業等も呼びかけを行っている。</p> <p>【工夫している点】 地域の小中学生の作品をロビーに展示しており、コミセン利用のきっかけにもなっている。また、地域の小中学校とは必要に応じて懇談会を設けるなどの関係性ができている。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<p><b>運営委員・協力員の</b> 人材充実</p>	<p>【現状】 運営委員の人数は比較的少なく、一人当たりの負担は大きい。毎年、1～2名の新規参加者が得られているが、50～60代前半の世代は少ない。</p> <p>【工夫している点】 コミセン祭りは、運営委員だけではなく利用団体にも積極的に関わってもらうことにより、より多くの方が協力してくれるようになった。コミセン祭りの実施には、成蹊大学のボランティアサークルの力も借りている。</p> <p>【特筆すべき成果】 コミセン祭りの運営を手伝う利用団体が増えたことで、他の利用者・利用団体が運営に関与するハードルが低くなり、好循環が生まれている。</p>
<p><b>持続可能な事業の</b> 実施</p>	<p>【現状】 事業の精査をしつつ、実施している。</p> <p>【工夫している点】 運営委員の中で事業の継続（継続／手直し／廃止）に関するアンケートを実施した。</p>
<p><b>活発な協議会運営</b></p>	<p>【現状】 主たる事業の企画・運営は少ない運営委員で行っている。</p> <p>【工夫している点】 運営委員は少数ではあるが、事業実施にあたっては、地域団体への協力依頼を行い、地域とともに事業を実施している。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

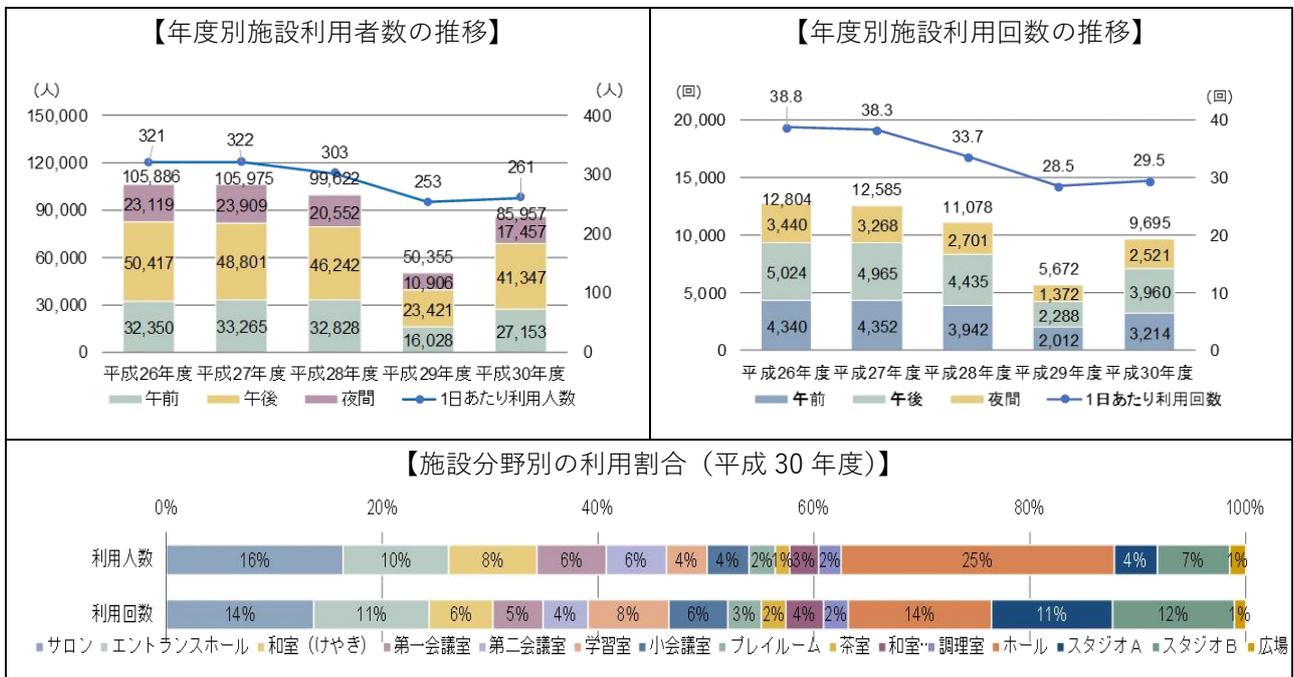


# 吉祥寺南町コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成 30 年度の利用者数（総数）は 85,957 人であり、1 日あたりの利用人数は 261 人（開館日数:329 日）であった。過年度と比較すると、利用数は下降傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成 30 年度で 9,695 回、1 日あたり利用回数は 29.5 回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数の割合はサロン、ホール、スタジオが他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「文化・芸術」「福祉（高齢者向け）」であった。



【利用団体の活動部分野】		
（◎：特に利用実績が多い    ○：利用実績がある）		
1. スポーツ（ヨガを含む）	○	6. 福祉（高齢者向け）
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災
5. 子育て	○	10. まちづくり
その他：		

## (2) 主な事業

①事業名	南町コミュニティニュースの月刊発行と全戸配布
②事業概要	コミュニティニュースを毎月発行し、運営協力員による手配りでの全戸配布を行っている。地域 6,200 戸に対し、運営協力員 70～80 名の手を経て配られている。アナログな情報提供手段ではあるが、年齢層の問題と配布活動が地域の点検活動につながるという観点からも大切な取り組みと考えている。しかし、運営協力員の高齢化という問題は避けて通れず、負担減のための方策も模索しなければならない現状もある。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：21人以上
④実績	実施回数：12回 参加人数：80人 事業費：-
⑤施設	

①事業名	南町文化祭
②事業概要	書道生け花・福祉防災関係、音楽や演劇といった各種の利用団体の発表交流の場として開催している。コミセンに足を踏み入れるきっかけとしても大切にしている。特に南コミセンの場合は、展示スペースの他に、ホールでのコーラス・バンド演奏などの発表が充実している。
③体制	運営委員：16～20人 協力員：16～20人
④実績	実施回数：1回 参加人数：1000人(3日間) 事業費：220千円
⑤施設	全館

①事業名	桜まつり
②事業概要	南町福祉の会との共催で三月末に実施している。高齢化する地域コミュニティの中で、「南町元気体操の会」の協力もあり、体を動かし、交流会食し、親睦を深めている。コミセンに足を運んでもらう機会を少しでも多くするためには重要でな取り組みである。
③体制	運営委員：11～15人 協力員：6～10人
④実績	実施回数：1回 参加人数：100人 事業費：80千円
⑤施設	サロン

①事業名	不老体操(毎週金曜日)/地域健康クラブ(毎週火曜日)/南町元気体操(毎週月曜日)
②事業概要	高齢者支援課・高齢者支援センター・南町元気体操の会などと協力した高齢者対象の体操。それぞれの体力・興味に合わせて選択し、健康維持の習慣をつけるため、各種開催している。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：0人
④実績	実施回数：199回 参加人数：4000人 事業費：-
⑤施設	ホール・和室けやき

①事業名	親子ひろば・パパ広場
②事業概要	市共催による collabono コミセン親子ひろば(年 24 回)として第一・第三金曜日午前に開催している。若い世代の少ない吉祥寺東側でのコミセン認知と子育て世代、乳幼児親子の交流の場となっている。第四金曜日には「ぐーらーいぶ」の協力を得て絵本の読み聞かせ(年 10 回程度)を実施している。また、隔月で若いお父さんたちの交流を目指して「パパひろば」(年 5 回)を開催。地域のベテラン男性陣をスタッフに、簡単な料理を作るなど、子育てパパ同士のつながりを作っている。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：39回 参加人数：600人 事業費：-
⑤施設	

## (3) コミュニティセンター活動体制

○平成 30 年度時点の運営委員数は 39 名であり、協力員数は 160 名である。

### 2. 評価結果まとめ

#### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<p><b>利</b>用者への配慮と適切な対応</p>	<p>【現状】音楽や演劇等、様々な分野の利用団体がある。</p> <p>【工夫している点】音楽演奏等、音を発する団体同士が近くの部屋にならないよう、予約の段階で調整している。</p>
<p><b>新</b>しい利用者・利用団体の増加</p>	<p>【現状】スタジオやホールがあるために、最近は演劇やダンス練習で若い人の利用が増えている。また、「親子ひろば」事業には、子育て世代の参加があり、麻雀クラブは、女性の参加者が多く人気になっている。</p> <p>【工夫している点】若いお父さんを巻き込む工夫として、「パパひろば」を開催し、子どもを仲立ちに地域参加してもらう仕組みを作っている。また、お父さんたちが気後れしないよう、「パパひろば」のスタッフは男性が担っている。</p>
<p><b>施</b>設の利用方法の工夫</p>	<p>【現状】スタジオやホールがあり、演劇やダンスをする利用者が増えている。</p> <p>【工夫している点】ホールは、以前は20名以上での使用に限定していたが、ニーズの変化により、半分の区画で少人数でも利用できるように変更した。また、学習室は人気が高く、季節によっては入りきれないほどの利用者が訪れるため、必要に応じてその他の会議室に学習室を拡大している。</p>
<p><b>情</b>報の提供</p>	<p>【現状】地域の約6,200戸に対し、協力員の手配りでコミュニティニュースを配布しているが、協力員の高齢化もあり、負担は大きくなっている。</p> <p>【工夫している点】協力員と運営委員は普段顔を合わす機会が少ないが、交流会を設けたことで、良い関係性を築けている。</p> <p>【特筆すべき成果】利用者へ声掛けを行い、コミュニティニュースの配布を依頼している。お礼として、利用者は月2回までのコミセン利用というルールを3回にしている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<b>利用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり</b>	<p>【現状】南町文化祭は、各種の利用団体の発表交流の場となっているほか、地域住民がコミセンに来館してもらえるきっかけとなっている。</p> <p>【工夫している点】意見交換や情報共有を目的として、同じような活動団体（福祉や書道等）が交流できるよう、協議会がコーディネートしている。</p>
<b>地域とコミセンの つながりづくり</b>	<p>【現状】「防災ネットワーク」では、各種団体が集まる機会となり地域のつながりが生まれている。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<b>運営委員・協力員の 人材充実</b>	<p>【現状】スタッフの入れ替わりは、個人的な人脈によって受け継がれ、維持してきた。</p> <p>【工夫している点】令和元年度より、「助っ人バンク」といって、スポット的に協力してくれる人員を募り、令和元年夏時点で4名の応募が得られている。また、個人的な人脈に頼らない人員確保のため、コミセン利用者に対する声掛けを行っている。</p>
<b>持続可能な事業の 実施</b>	<p>【現状】利用者のニーズや運営委員の負担を考慮し、精査を行っている。</p> <p>【工夫している点】適宜事業の見直しを行い、かつて力を入れていた「どじょうつかみ大会」を、担い手の高齢化等の問題で廃止し、新しい利用者の増加につながるような、新規事業に取り組む体制を生み出している。</p> <p>【特筆すべき成果】協議会と商店街の事業で、過去に人手不足から廃止を検討したこともあるが、地域の人々（サッカークラブ・野球クラブの保護者など）から形を変えての継続を提案され、協力を得ながら工夫して継続している。</p>
<b>活発な協議会運営</b>	<p>【現状】運営委員＝窓口担当となると窓口業務に比重が偏ってしまうという課題がある。</p> <p>【工夫している点】窓口業務に携わらないフリーの役員の増員を検討している。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

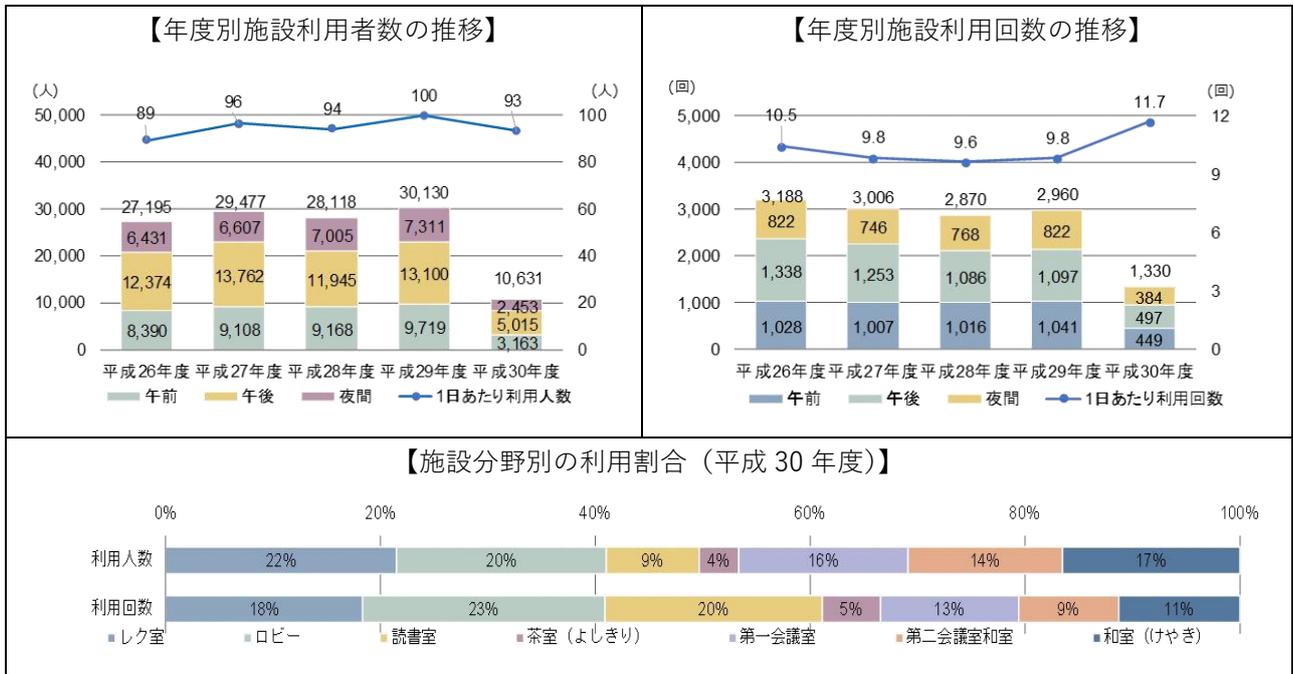


# 御殿山コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成 30 年度の利用者数（総数）は 10,631 人であり、1 日あたりの利用人数は 93 人（開館日数:114 日）であった。工事による長期休館期間を鑑みて過年度と比較すると、過去 3 年間の利用者数（総数）は若干であるが増加傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成 30 年度で 1,330 回、1 日あたり利用回数は 11.7 回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではロビー、読書室、レク室の利用回数が他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「文化・芸術」「福祉（高齢者向け）」「防災」であった。



<b>【利用団体の活動部分野】</b> (◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある)			
1. スポーツ（ヨガを含む）	○	6. 福祉（高齢者向け）	◎
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	○
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	○
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	◎
5. 子育て	○	10. まちづくり	○
その他：			

## (2) 主な事業

①事業名	コミセンまつり
②事業概要	主に 11 月 ・作品展示 2 日間（利用者：地域の方の作品） ・芸能大会（カラオケ・舞踊・手品等） ・出店販売（サンドイッチ、おしる粉・だんご・焼そば、コーヒー） ・懇親会で（出展者、出演者、担当者）それぞれの意見を聞く。 内容はその年度によって異なる。
③体制	運営委員 21 人以上 協力員：11～15 人
④実績	実施回数：年 1 回 参加人数：延べ 200 人 事業費：300 千円
⑤施設	全館 2 日間

①事業名	健康麻雀
②事業概要	・地域の高齢者主体 ・麻雀台 9 卓 ・欠席者が少なく、常に 30 名以上の参加があるため新規加入者が募れないほどである ・1 ヶ月 200 円の参加料
③体制	運営委員：11～15 人 協力員：11～15 人
④実績	実施回数：月 2 回 参加人数：1 か月 70 人 事業費：20 千円
⑤施設	レクリエーション室

①事業名	みんなでカフェ
②事業概要	・健康クラブ終了後のコーヒータイムとして利用できるように健康クラブの日程に合わせて実施している。 ・一杯 100 円 ・高齢者向け、利用者・フリーの方も利用できる事業である。
③体制	運営委員：6～10 人 協力員：6～10 人
④実績	実施回数：月 2 回 参加人数：1 か月 40 人 事業費：20 千円
⑤施設	ロビー

①事業名	防災訓練
②事業概要	・町会、福祉の会と共催 ・参加者：地域の方 ・武蔵野消防署による指導（AED の取り扱い方法・講話・消火器の使い方・人工呼吸法など） ・三角布は参加者に配布 ・日本赤十字社より（止血方法及び応急処置方法） ・AED 人形 8 体使用、マウスピース配布 ・安全の基本（自助、共助、公助）3 原則
③体制	運営委員：16～20 人 協力員：6～10 人
④実績	実施回数：年 1 回 参加人数：50 人 事業費：10 千円
⑤施設	-

①事業名	①クリスマス会 ②おひなさまの会 ③お花見の会
②事業概要	①毎年 12 月 大人 1000 円 子ども 500 円 お楽しみ会あり ②年 1 回、年度末 参加費 100 円（子ども無料） ③年 1 回、年度末 参加費 500 円
③体制	運営委員：6～10 人 協力員：6～10 人
④実績	実施回数：①1 ②1 ③1 各 1 回 参加人数：①30 人②30 人③30 人 事業費：①60 千円②30 千円③30 千円
⑤施設	①レクリエーション室 ②ロビー ③公園散策～ロビー

## (3) コミュニティセンター活動体制

○ 平成 30 年度時点の運営委員数は 25 名であり、協力員数は 12 名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】年に1回、各サークルに案内を出し、各2名までの参加で利用者懇談会を行っている。</p> <p>【工夫している点】子育て世代の利用増加を目的として、市との共催事業である「親子ひろば」を開催している。「子どもルーム」などの自由に遊びまわれる部屋はなかったが、和室を代用することで開催が可能となった。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】健康麻雀の人气が高く、多くの参加者が集まっている。現状では、高齢者の利用が多く、高齢者向けの事業が多い。一方で、駅に近く立地条件が良いことから、若者の利用も増えつつあり、比較的地域外の人利用も多い。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】自由に出入り出来るオープンスペースというよりも、細かく会議室に区切られた作りになっている。一方で、中庭にウッドデッキがあり、人が集まるスペースとしての活用の余地がある。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】コミセンに関わる情報は、町会やマンションの掲示板に掲示し、各住宅には回覧板を通してお知らせしている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<p><b>利</b>用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり</p>	<p>【現状】コミセンまつりでは、展示・芸能等の発表のほか、終了後、反省会や懇親会を行っている。</p> <p>【工夫している点】利用者間につながりづくりのため、健康クラブの日程に合わせて、ロビーでミニカフェを開催しており、利用者がお茶やコーヒーを飲みながら交流することができている。</p>
<p><b>地</b>域とコミセンの つながりづくり</p>	<p>【現状】老人会や青少協、御殿山町会等の地域団体メンバーと運営委員が重複している関係もあり、相互に連携がとしやすい状況がある。</p> <p>【工夫している点】防災訓練等、共通の目的に対し地域の諸団体と協力して取り組んでいる。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<p><b>運</b>営委員・協力員の 人材充実</p>	<p>【現状】事業をきっかけにコミセンに来てくれた人と交流する場を設け、協議会運営に興味を持ってもらえるような取り組みをしている。</p>
<p><b>持</b>続可能な事業の 実施</p>	<p>【現状】高齢者向けの事業が多いが、今後は子どもを対象とした事業を増やしていきたいと検討している。</p> <p>【工夫している点】子どもに人気のあった事業で、「みんなで忍者」というものがあつたが、主催団体の拠点移転に伴い、事業の継続が困難になったが、子どもを対象とした「コミセン親子ひろば」に新たに取り組んだ。また、高齢者に向けた健康麻雀など、他にも新たな取り組みを実施している。</p>
<p><b>活</b>発な協議会運営</p>	<p>【現状】若い世代の利用が増えている等、利用者の把握・分析をし、運営に関わる人を増やすための、次の取り組みについて模索している。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

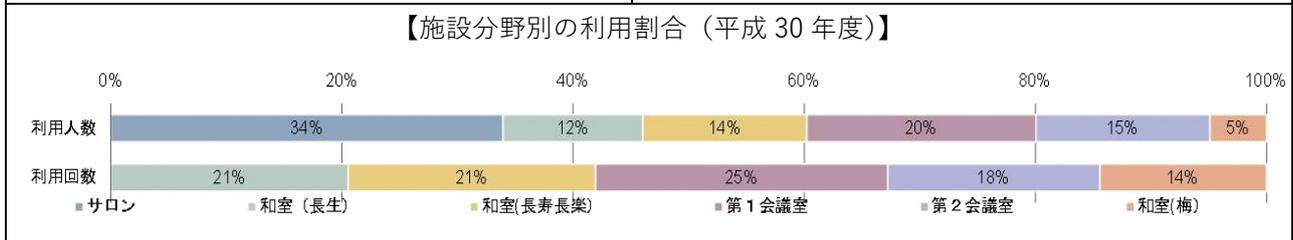
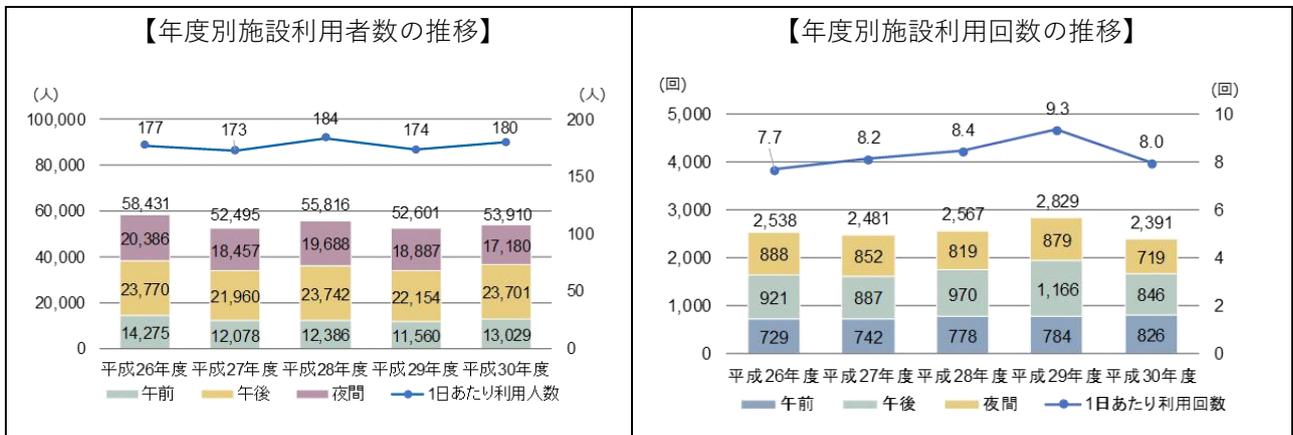


# 本町コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成30年度の利用者数（総数）は53,910人であり、1日あたりの利用人数は180人（開館日数:300日）であった。過年度と比較すると、過去3年間の利用者数（総数）は若干であるが下降傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成30年度で2,391回、1日あたり利用回数は8.0回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数では第1会議室と和室が他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「スポーツ」「文化・芸術」「福祉（高齢者向け）」であった。



【利用団体の活動部分野】		（◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある）	
1. スポーツ（ヨガを含む）	◎	6. 福祉（高齢者向け）	◎
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	○
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	
5. 子育て	○	10. まちづくり	○
その他： マンションの管理組合の総会・会議、体育施設がないため会議のみ（山の会、野球、サッカー、スキークラブなど）、青年会議所			

## (2) 主な事業

①事業名	センター祭（土、日の2日間）、元気市（日の1日のみ）
②事業概要	センター祭は本町コミセン恒例の事業で、主催教室の日頃の成果を発表する場にもなっている。模擬店やスタンプラリー、抽選会などがある。 元気市は東部まちづくり協議会との共催で、地域の活性化のために実施している。センター祭の2日目の日曜に同時開催することで、交流が計れている。
③体制	運営委員：21人以上 協力員：21人以上
④実績	実施回数：土・日の2日間 年1回 参加人数：900人 事業費：190千円
⑤施設	全館

①事業名	クリスマスチャリティダンスパーティー
②事業概要	12月24日前の金曜日の夜間に開催しており、ウェリナ・ハワイアンズの生バンドをバックに踊ってもらっている。午前中は3階の会議室や廊下にクリスマスの飾り付けをして雰囲気作りをする。手作りの軽食も好評で、年に1度のクリスマスパーティーを楽しみに参加してもらっている。参加費は1,000円で、収益の一部は毎年市民社会福祉協議会に寄付している。
③体制	運営委員：16～20人 協力員：6～10人
④実績	実施回数：年1回 参加人数：85人 事業費：110千円
⑤施設	全館

①事業名	高齢者ひなまつりのつどい
②事業概要	東部福祉の会と共催で、本町1丁目及び東町在住の70歳以上の方を対象に開催している。食事やお菓子で会食をし、新舞踊、マジック、フラダンス、紙芝居、健康体操、昔懐かしい歌の合唱などを行う。参加費は500円で、恒例のビンゴ大会ではおおいに盛り上がる。
③体制	運営委員：－ 協力員：－
④実績	実施回数：年1回 参加人数：80人 事業費：40千円
⑤施設	全館

①事業名	まちをきれいに
②事業概要	「みんなの力できれいなまちにしたい」「地域の方々のつながりを深めたい」との思いで、活動をしている。吉祥寺駅東側からコミセン周辺の掃除を行い、日曜早朝からの活動だが着実に参加者の輪を広げている。掃除後のお茶のひとつも楽しい情報交換の場となっている。誰もが安心して暮らせる「イースト吉祥寺」を目指して活動をすすめている。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：6～10人
④実績	実施回数：毎月第一日曜日 12回 参加人数：200人 事業費：20千円
⑤施設	地域と1階サロン

①事業名	わくわく体操でからだをほぐそう（健康寿命増進）
②事業概要	講師の指導で、ゆっくりした動きで身体をほぐしていく健康体操である。ストレッチをしたり、筋力アップをする運動をしたりすることで、歩くのが楽になったり、姿勢がよくなったりする。参加者からも好評で、2019年で2年目となる。定員は15名、予約なしの自由参加で、毎回自己紹介から始めている。
③体制	運営委員：1～5人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：毎月2回（4, 8, 12月除く）18回 参加人数：300人 事業費：45千円
⑤施設	2階全室（和室）

## (3) コミュニティセンター活動体制

- 平成30年度時点の運営委員数は31名であり、協力員数は35名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利用者への配慮と適切な対応</b>	<p>【現状】駅が近くにあり、市内・市外の幅広い層が来館している施設である。1階のサロンスペースには、テーブルを置いて自由に会話ができる環境になっており、近隣に勤務する会社員が休憩等にも利用している。</p> <p>【工夫している点】幅広い層の利用に対応できるよう、和室等に可動式のテーブルや椅子を置くなどして利用者の利便性向上を図っている。</p>
<b>新しい利用者・利用団体の増加</b>	<p>【現状】近隣に集合住宅が増えている。より多くの方たちがコミセン利用をしてみもらえるよう、新しい事業企画を検討している。</p> <p>【工夫している点】センター祭に合わせて、近隣公共施設（吉祥寺図書館・吉祥寺シアター）と連携してクイズラリーを開催した。</p> <p>【特筆すべき成果】クイズラリーを通じて、コミセン利用者に地域の施設を知ってもらいきっかけづくりにつながった。</p>
<b>施設の利用方法の工夫</b>	<p>【現状】学習室が無いため、学習する人はサロンを利用している。エレベーターが無いために現状、2階・3階を利用できない団体はサロンを利用している。</p> <p>【工夫している点】多様な使われ方に対応するために、サロンのテーブルを小型・軽量化したことで、利用者の使い勝手を良くした。</p> <p>和室等に可動式のテーブルや椅子を置くなどして利用者がくつろげる環境づくりをしている。</p>
<b>情報の提供</b>	<p>【現状】むさしのFMを開館中に流すことで、情報提供をするとともに、居心地の良い雰囲気づくりを心掛けている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

利用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり	【現状】センター際は利用団体の作品展示や芸能発表等、協力を得ながら開催している。
地域とコミセンの つながりづくり	【現状】以前、東日本大震災の際に市からの要請で帰宅困難者の受け入れを行ったことがある。駅近であることもあり地域の中での役割は大きい。また、東日本大震災を経験したことで地域の絆の重要性を認識し、絆づくりの一環として「まちをきれいに」という環境美化活動を始めた。 【工夫している点】コミセン周辺的环境浄化の歴史を振り返り、地域とともに安心安全なまちづくりを目指していくために「地域を知る会」を実施した。その影響もあり、「まちをきれいに」への子どもや外国人の参加も増えている。

## ③ 持続可能な協議会の運営

運営委員・協力員の 人材充実	【現状】協議会の活動を知ってもらうため、引き続き広報活動をおこなっている。
持続可能な事業の 実施	【現状】毎年度講座を企画しているが、参加人数や人気度を見ながら精査している。 【工夫している点】主催事業ではない講座でも、受講者から継続の要望があれば、協議会が引き続き事業化するといった取り組みしており、地域ニーズの取り込みを行っている。
活発な協議会運営	【現状】運営委員会等の参加者が一部の委員に固定化している。 【工夫している点】運営委員会等の参加をやすくするため、開催時間の見直しを行った。

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

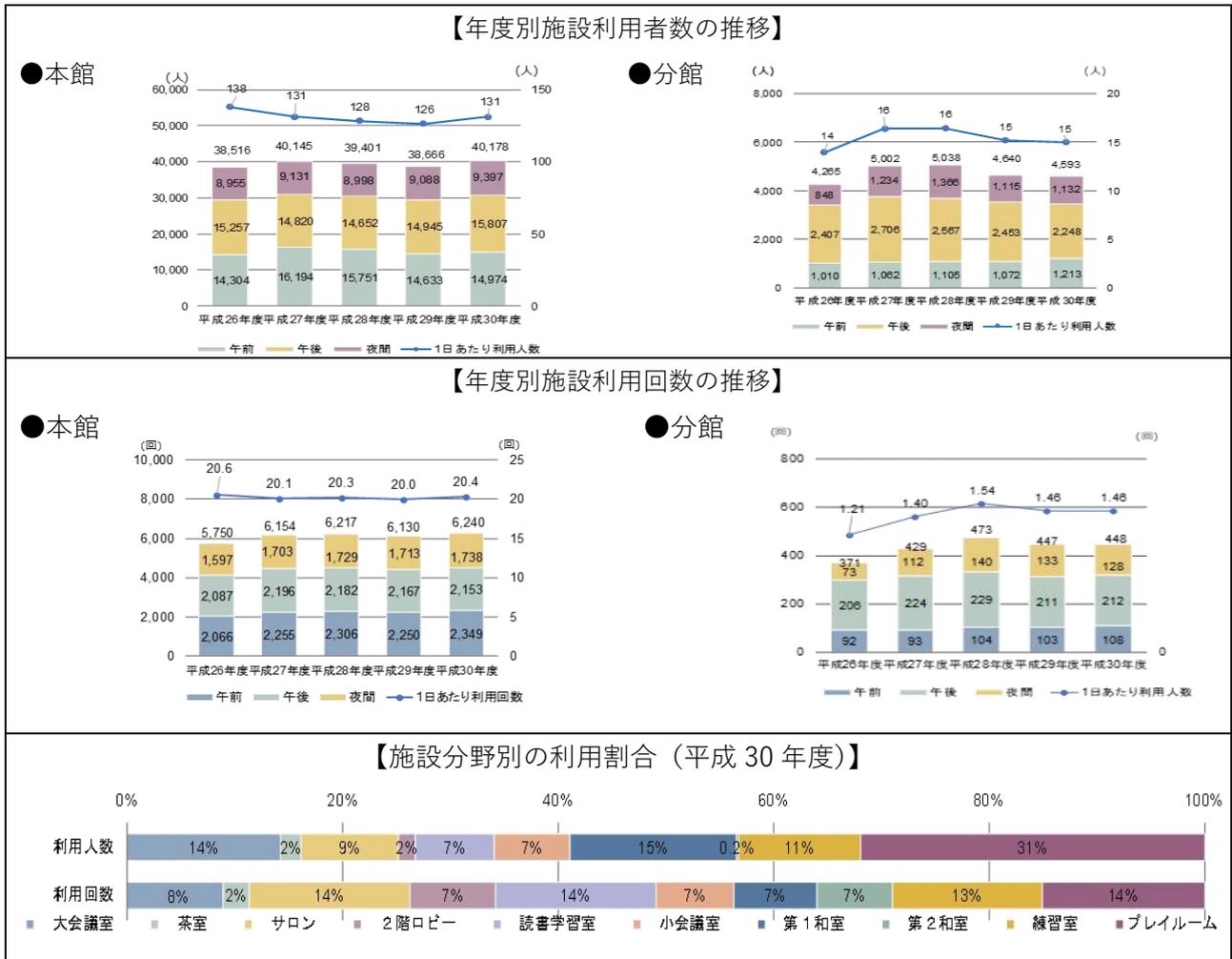


# 吉祥寺西コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成 30 年度の利用者数（総数）は本館 40,178 人、分館 4,593 人であり、1 日あたりの利用人数は本館 131 人、分館 15 人（開館日数:306 日）であった。過年度と比較すると、過去 3 年間の利用者数（総数）はほぼ横ばいである。
- 利用回数（総数）は平成 30 年度で本館 6,240 回、分館 448 回で、1 日あたり利用回数は本館 20.4 回、分館 1.46 回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではサロン、読書学習室、プレイルームの利用割合が他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、本館が「文化・芸術」「子育て」「福祉（高齢者向け）」、分館が「文化・芸術」「教育・青少年育成」であった。



【利用団体の活動部分野：本館】 (◎：特に利用実績が多い) (○：利用実績がある)

1. スポーツ（ヨガを含む）	○	6. 福祉（高齢者向け）	◎
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	
4. 教育・青少年育成		9. 防災	○
5. 子育て	◎	10. まちづくり	○
その他：地域のマンション管理組合の会合、ヨガグループ 数団体、演劇グループの練習 7~8 団体			
<b>【利用団体の活動部分野：分館】</b> （◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある）			
1. スポーツ（ヨガを含む）		6. 福祉（高齢者向け）	○
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	
3. 緑・環境		8. 防犯・交通安全	
4. 教育・青少年育成	◎	9. 防災	○
5. 子育て	○	10. まちづくり	○
その他：地域のマンション管理組合の会合、演劇グループ			

## (2) 主な事業

①事業名	フリーマーケット・野菜販売・セトモノ食器リサイクル祭り
②事業概要	年2回実施（7月・11月）しており、サロンでは喫茶も実施している。7月は単独開催だが、11月はコミセンまつり内での実施である。地域住民の出店・提供など、物品を通しての地域の人と人の交流を促進することができている。開催日程、手伝い者の確保・調整が難しいが、多くの地域住民が楽しみにしている人気事業である。
③体制	運営委員：16～20人 協力員：11～15人
④実績	実施回数：2回 参加人数：550人 事業費：27千円
⑤施設	プレイルーム・和室・1階通路・駐輪場（野菜）・サロン

①事業名	あそぼうよ
②事業概要	主に小学校低学年の遊び場として、立ち上げた事業だが、子どもだけではなく保護者の方にも大変喜ばれている。（内容：おもちゃつき・科学あそび（空気の実験）・紙飛行機飛ばし・シャボン玉あそび・ソーメン流し・輪投げ大会・工作をしよう・人形劇・サンタさんからプレゼント・豆まきとゲーム・すいとん作り等）ただし、スタッフの高齢化が課題となっている。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：7回 参加人数：364人 事業費：160千円
⑤施設	コミセンプレイルーム・サロン・吉祥寺西公園

①事業名	井ノ頭通り美化活動
②事業概要	成蹊通り交差点（吉祥寺本町3-25）からコミセン入口の交差点までの200m、及び紀ノ国屋先交差点（吉祥寺本町3-6）までの260mの井ノ頭通りの街路樹植込みの花の手入れとゴミ拾いを行う。第1日曜日と第3土曜日に実施しており、清掃活動を通して地域の人をつながりを作っている。小学校PTA及び第1中学校生徒の自主参加がある。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：20回 参加人数：143人 事業費：30千円
⑤施設	井ノ頭通り、大会議室（終了後懇親会）

①事業名	あるこうかい
②事業概要	年4回、約15,000歩を目途にウォーキング実施し、「あるこうかい」を通しての仲間づくりとコミセンの協力者確保を目指している。日本橋周辺の散策・高麗神社と巾着田の散策・月島、豊洲界隈の散策、千鳥ヶ淵周辺の桜ウォークなど、毎回新しい名所を巡っている。なお、交通費等は実費である。事前に実踏を行い、経路及び安全を確認している。
③体制	運営委員：11～15人 協力員：11～15人
④実績	実施回数：4回 参加人数：93人 事業費：40千円
⑤施設	交通機関 大会議室（実行委員会）

①事業名	サロンイベント／ホッとCaféシェ・モア
②事業概要	サロンイベントは年に4回、「ホッとCafeシェ・モア」奇数月の第4土曜日に実施している。地域の方を招き、講演会、演奏会、舞踊などのイベントを開催して好評を得ている（三鷹市大沢の水車の話、歌声喫茶、戦国武士の時代と人間太田道灌など）。毎回、マスターが選んだコーヒー銘柄を提供しており、楽しみにしている人が多い。イベント、Caféを楽しみながら、コミセンに関心を持っていただくことを目的としている。
③体制	運営委員：6～10人 協力員：1～5人
④実績	実施回数：11回 参加人数：286人 事業費：27千円
⑤施設	サロン・プレイルーム

## (3) コミュニティセンター活動体制

- 平成30年度時点の運営委員数は35名であり、協力員数は68名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】利用者懇談会を開催している。利用者懇談会では、コミセンの申込・予約方法、施設の問題などについて様々な意見交換がなされ、改善に向けた取り組みをしている。</p> <p>【工夫している点】コミセンを頻繁に使用する団体に対しては、予約時等に利用者懇談会への出席を依頼している。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】練習室やプレイルーム、サロンがあることで、ダンス等の練習でよく活用されている。他市の利用者も多い。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】分館については、演劇練習や体操等、大きな音を発するような活動で利用されることが多い。</p> <p>【工夫している点】エントランスには園芸クラブで育てた鉢植えを置いて、来館者に四季を感じてもらっている。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】壁面や掲示板を使って、協議会の歴史や地域団体の活動紹介を行っている。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<b>利</b> 用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり	<p>【現状】地域懇談会を年2回開催している。</p> <p>【工夫している点】地域懇談会では毎回テーマを設定して、地域で活動する団体間で現状と課題の共有を図っている。</p> <p>【特筆すべき成果】地域懇談会での意見がきっかけとなり、「井ノ頭通り美化活動」などがスタートし、地域の方たちとともに現在も継続している。</p>
<b>地</b> 域とコミセンの つながりづくり	<p>【現状】地域には子どもたちが遊べる場所が少なかったため、遊び場の提供として「あそぼうよ」という事業を始めた。</p> <p>【工夫している点】福祉の会をはじめ、共催事業を多く実施しており密接な関係を築いている。</p> <p>【特筆すべき成果】「あそぼうよ」は長年続いている事業で、一小と井之頭小の児童も参加し、学校と学年を超えた交流が生まれている。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<b>運</b> 営委員・協力員の 人材充実	<p>【現状】協力員として70~80名が登録しているが、登録した協力員が皆参加できるとは限らない。コミセンだよりによって募集からをしているが、新たな担い手の獲得にはつながっていない。</p>
<b>持</b> 続可能な事業の 実施	<p>【現状】年間を通して、継続的に週1回以上の事業を実施している。</p> <p>【工夫している点】事業は多いが、大きな負担にならないよう担当が分かれている。また、利用者からのニーズや運営委員の実情を鑑みて、事業の精査を行っている。</p>
<b>活</b> 発な協議会運営	<p>【現状】毎月、運営委員会・役員会・窓口担当者会議を開催している。窓口業務に関する事項を協議し、円滑・適切なコミセン運営を行っている。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

---

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

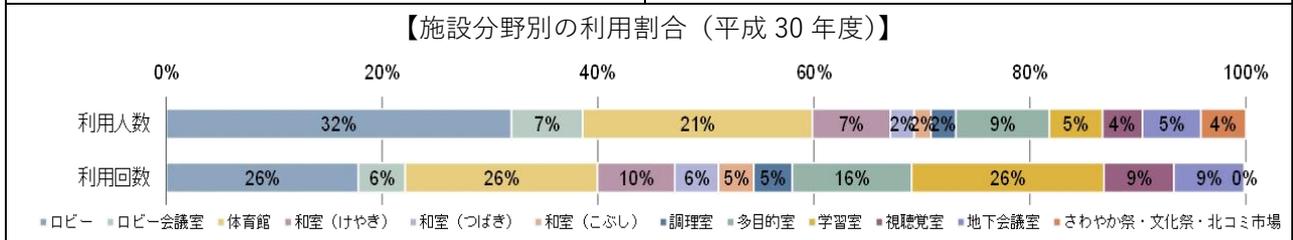
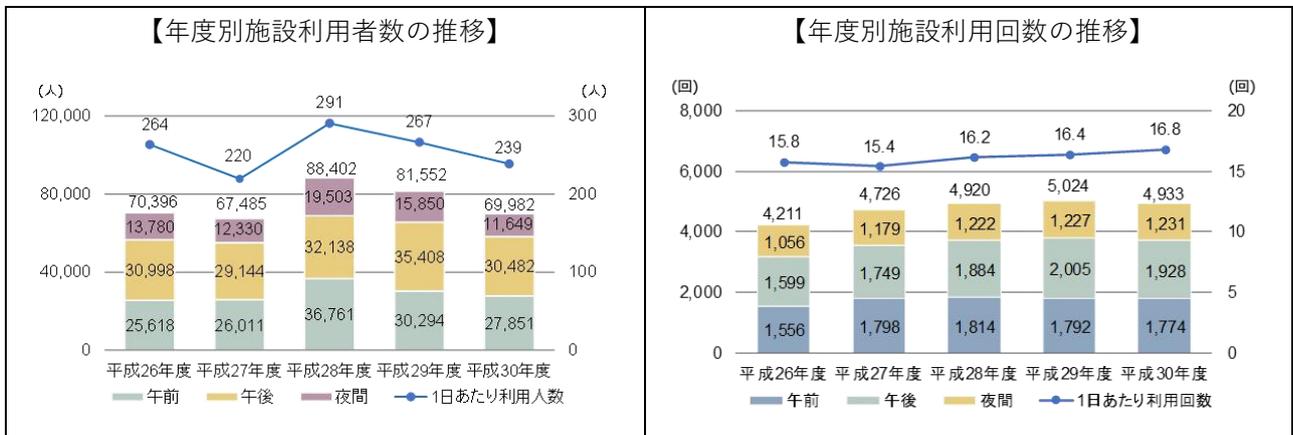
- ~~~
- ~~~

# 吉祥寺北コミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成30年度の利用者数（総数）は69,982人であり、1日あたりの利用人数は239人（開館日数:293日）であった。過年度と比較すると、過去3年間の利用者数（総数）は減少傾向にある。
- 利用回数（総数）は平成30年度で4,933回、1日あたり利用回数は16.8回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではロビー、体育館、学習室が他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「スポーツ」「文化・芸術」「福祉（高齢者向け）」であった。



**【利用団体の活動部分野】** (◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある)

1. スポーツ（ヨガを含む）	◎	6. 福祉（高齢者向け）	◎
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	○
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	○
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	○
5. 子育て	○	10. まちづくり	○

その他： マンション管理組合の会合、演劇、ボードゲーム他 遊び

## (2) 主な事業

①事業名	さわやかまつりのお神輿巡行
②事業概要	さわやかまつりの目玉出し物の一つとして、企画。幼児から小学校低学年の皆さんまでを対象に行うもので、神輿はペットボトルで作られ午前 11 時と午後 2 時、200m ほど離れた老人ホームまで往復を 2 回巡行。毎回、子ども 30 人の参加。参加者には少額のお菓子を配布。
③体制	運営委員：1～5 人 協力員：6～10 人
④実績	実施回数：2 回 参加人数：60 人 事業費：5 千円
⑤施設	公道と体育館

①事業名	文化祭の吹奏楽演奏 / 四小茶道部によるお手前のお手伝い
②事業概要	文化祭の開幕を告げる、四小・四中の吹奏楽団の演奏。地域の皆さん、ご家族の皆さん、学校関係者の皆さんに大変喜んでいただいている。出演された皆さんには少額のお菓子を配布。 / 文化祭で、ロビーで行われる抹茶コーナーに四小茶道部の人たちが指導担当の先生と一緒に土曜日の午前中だけ、お手伝いをお願いしている。日本の伝統を小さいお子さんが振舞われている姿に地域の方々から称賛の声が寄せられている。(ロビー)
③体制	運営委員：6～10 人 協力員：1～5 人
④実績	実施回数：1 回 参加人数：80 人 事業費：10 千円
⑤施設	体育館

①事業名	親子劇場 / お話の会さくらんぼ
②事業概要	人形劇団“コパン”を招致して、小学校低学年、保育園児の皆さん、地域の皆様から楽しみにされている企画。 / お話の会「さくらんぼ」：月 1 回、絵本、紙芝居、パネルシアター、工作を行っている。プログラムの中に、手遊びや歌もあり、又、工作は「動くおもちゃ」作りを入れたことにより、お父さんの参加が増えている。月 1 回、毎回 15～20 人の参加。(視聴覚室)
③体制	運営委員：1～5 人 協力員：1～5 人
④実績	実施回数：年 1 回 参加人数：120 人 事業費：80 千円
⑤施設	ロビー

①事業名	コンサート事業
②事業概要	ロビーにある、ドイツ製のピアノ“ベヒシュタイン”を主体に、年 2～3 回の開催。ジャンルは当初はクラシックが中心だったが、最近はタンゴ・ラテン・ハワイアン・オペラアリア等と拡大している。 参加者は地域の人だけでなく、遠方(市外・都外の方も)からも来る。質の高い内容が皆さんに知れ渡り、好評を博している。入場料(@500)収入は事業費に戻している。 他に、年 2～3 回、土曜日の午後の 30 分間、若手ピアニストを招いて、“お昼のひとときを音楽で”という無料のミニコンサートも催している。
③体制	運営委員：16～20 人 協力員：0 人
④実績	実施回数：2～3 回 参加人数：120 人 事業費：190 千円
⑤施設	ロビー

①事業名	パソコン学習会
②事業概要	19 年前に、パソコン技術・知識の取得と共に住民同士のつながり・絆づくりを図る目的で、今日まで毎週日曜日の午前と午後の各 2 時間、学習会を開催している。(8 月は 1 か月間の夏休み) 参加者からは午前 200 円、午後 200 円、終日 300 円徴収している。パソコンは市から貸出を受け、会計処理は市の補助金会計とは別途に処理。
③体制	運営委員：1～5 人 協力員：6～10 人
④実績	実施回数：年間 40 回 参加人数：300 人 事業費：0 千円
⑤施設	地下会議室

## (3) コミュニティセンター活動体制

○ 平成 30 年度時点の運営委員数は 18 名であり、協力員数は 62 名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】地域の団体にはロッカーや倉庫のスペースを提供している。</p> <p>【工夫している点】夏季の体育室は高温になりやすく、利用者へ声掛けや保冷剤を渡す等の対応を行っている。また、利用者からの意見を取り入れて、部屋の利用要件の改善も取り組んでいる。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】「北町さわやかまつり」は、コミセン利用者が主催側となり開催している。</p> <p>【工夫している点】「北町さわやかまつり」は過去のコミュニティ評価委員会報告を受けて、地域の諸団体も巻き込んで行っている。結果として、団体同士の交流が生まれている。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】ロビーは貸出をしていないが、気軽に来館できるよう、行事として協議会主催で講演会やコンサート等を行っている。</p> <p>【工夫している点】ロビーには近隣の保育園児等による作品を展示するスペースを作っている。作品の展示スペースを作り、徐々に作品を提供してくださる方が増えている。今後、作品展示を通じ、家族はじめ、より多くの来館者を呼び込もうとしている。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】コミュニティ便りを毎月発行し、事業内容等をお知らせしている。</p> <p>【特筆すべき成果】「ルーマニアを知ろう」というテーマで地域フォーラムを開催した。地域住民へ本市の友好都市であるルーマニアを知ってもらうという目的で、産業や歴史、文化を紹介した。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<p><b>利</b>用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり</p>	<p>【現状】「北町さわやかまつり」終了時には反省会を行っている。</p> <p>【工夫している点】反省会を行ったことで、利用団体間で施設運営・利用に関する今後の課題について検討している。</p> <p>【特筆すべき成果】「北町さわやかまつり」の成果としては、各種の団体がコミセンのその他の行事等に参加してくれる割合が高まった。</p>
<p><b>地</b>域とコミセンの つながりづくり</p>	<p>【現状】北コミ市場では、地元農家の協力により野菜・花の提供をしている。15年以上続いている取り組みで地域に定着している。</p> <p>【工夫している点】地域の方から寄贈されたグランドピアノを使って、地域の方へ音楽を楽しんでもらえるよう、演奏会を定期的を開催している。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<p><b>運</b>営委員・協力員の 人材充実</p>	<p>【現状】運営委員が18名と少ないため、各運営委員の負担が大きい。各団体からの参加、個人的な口コミでの依頼などを試行している。</p> <p>【工夫している点】運営委員は北町の住民には限っておらず、八幡町や本町など他地域に在住の人も受け入れている。</p>
<p><b>持</b>続可能な事業の 実施</p>	<p>【現状】「パソコン学習会」は19年の歴史があるが、運営する側も高齢になってきており、参加者数も減っている。基礎編と応用編に分けて実施しているが、今後中止するのか、形をかえて実施するか（スマートフォン研修など）検討している。</p>
<p><b>活</b>発な協議会運営</p>	<p>【現状】若い運営委員が入ってきて、世代交代が進みつつある。</p> <p>【工夫している点】運営委員会を午前から夜間に変更し、日中仕事がある方も参加しやすく改善している。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~

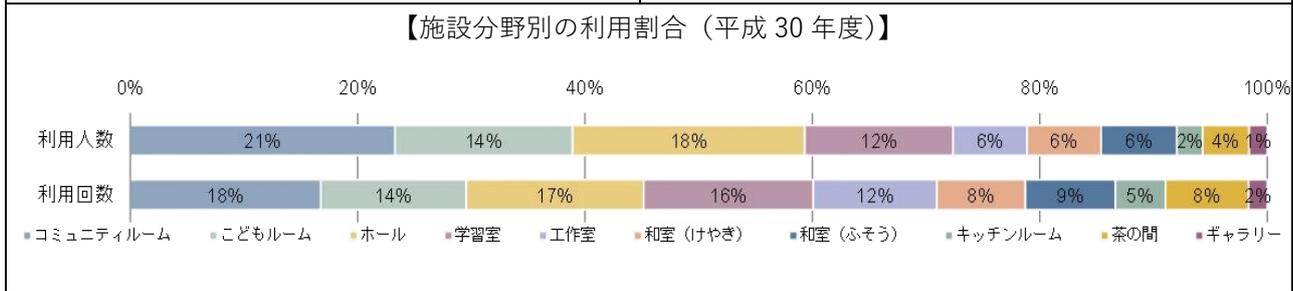
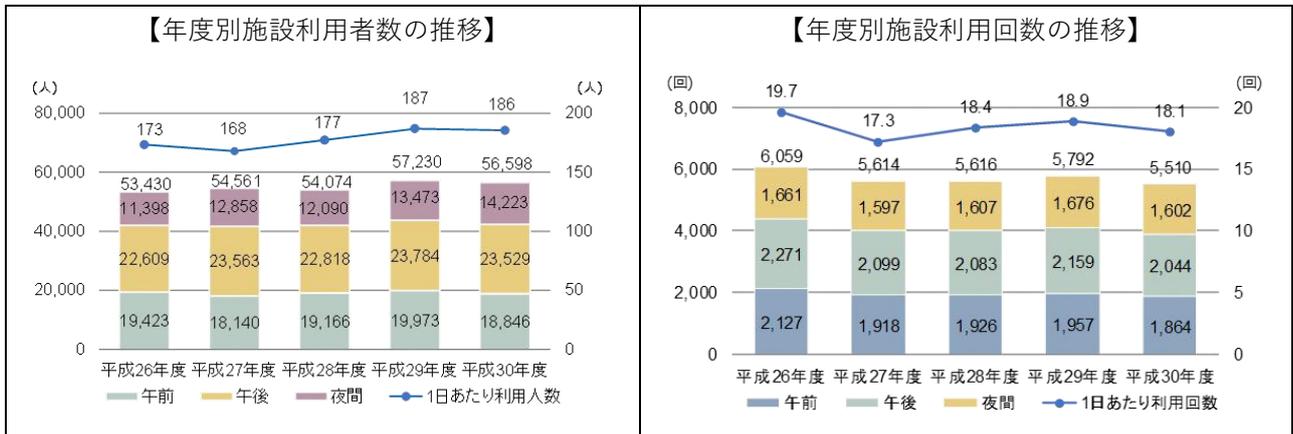


# けやきコミュニティセンター

## 1. 施設の概況

### (1) 利用状況

- 平成30年度の利用者数（総数）は56,598人であり、1日あたりの利用人数は186人（開館日数:305日）であった。過年度と比較すると、過去3年間の利用者数（総数）は増加傾向にあるものの前年度と比べると若干減少している。
- 利用回数（総数）は平成30年度で5,510回、1日あたり利用回数は18.1回であった。
- 施設（部屋）分野別の利用割合をみると、利用回数ではコミュニティルーム、ホール、学習室の利用割合が他と比べて高かった。
- 特に利用が多い団体の活動分野としては、「文化・芸術」「子育て」「まちづくり」であった。



【利用団体の活動部分野】（◎：特に利用実績が多い ○：利用実績がある）			
1. スポーツ（ヨガを含む）	○	6. 福祉（高齢者向け）	○
2. 文化・芸術	◎	7. 福祉（障害者向け）	○
3. 緑・環境	○	8. 防犯・交通安全	
4. 教育・青少年育成	○	9. 防災	○
5. 子育て	◎	10. まちづくり	◎
その他：			

## (2) 主な事業

①事業名	けやきまつり
②事業概要	けやきコミセンが創立前からの活動としてコミセンの基礎となっている事業。3大イベントの一つとして運営委員を割り振り実行委員会制で準備している。話し合いにより内容ややり方もきめているが、運営委員・協力員はもちろん、地域の団体、学校の先生方、大学生、小中高生などもスタッフとなり実行委員を中心に活動している。 主な内容は バザー・フリーマーケット・子供コーナー・屋台（焼きそば・焼き団子・フランクフルト・ピザ・豚汁・ドリンクなど）、成蹊大生による東北支援コーナー、地元野菜の販売・花市・ゲームコーナー・コーヒーコーナーなど。5月の日曜日、参加者の年齢層も幅広く、地域に期待される楽しい事業となっている。またお誘いしやすく、スタッフを経験されて運営委員になれる方もいて、よいつながりが生まれている。
③体制	運営委員：21人以上 協力員：21人以上
④実績	実施回数：年1回 参加人数：約1000人 事業費：170千円
⑤施設	全館・扶桑通り公園

①事業名	けやき夏まつり
②事業概要	3大イベントの一つで実行委員会制。8月最終日曜日、夏の終わりを一緒に楽しもうと、野外映画の会として立ち上がったが、近年は盆踊りを中心に行っている。 盆踊りの練習日を2～3日設けて参加を呼び掛けている。中学校から大太鼓を借り、地域の子供たちのチームが演じて盛り上げている。 屋台（焼きそば・焼き鳥・焼き団子・ピザ・おにぎり・ドリンク・かき氷など）、ステージとして地域の方のフラダンスや大学生のダンス、三味線などもお願いし参加していただいている。恒例となっている成蹊大生によるきもだめしコーナーも人気。 浴衣を着て楽し気に踊る親子などみなさんが気軽に参加し、笑顔があふれる事業。
③体制	運営委員：21人以上 協力員：21人以上
④実績	実施回数：年1回 参加人数：約800人 事業費：120千円
⑤施設	全館・扶桑通り公園

①事業名	どんどこやきとむかしあそび
②事業概要	けやき3大イベントの一つで実行委員会制。緑町コミセン・大野田地域子ども館推進会議（あそべえ）・青少年問題協議会の共催事業。大野田小学校校庭を利用し、学校の多大なる協力のもと行っている。 内容はお正月のお飾りなどを焚き上げ、皆さんの健康を祈り、地域のふるさとづくりをめざす。お汁粉1000食分を前日から作り、ふるまっている。また出し物としてよさこいなどのステージ、人力車の試乗、点火式は地域の年男男女が行う。 また青少協のマシュマロ焼き、大野田地域子ども館推進会議による昔遊びには地域の名人やPTAの委員も一緒に子供たちとけん玉やコマ回し竹馬など昔遊びを指導する。PTAの方や成蹊の学生にはお汁粉などのコーナーのお手伝いにも参加していただいている。共催団体と協力して準備するので、独自のイベントとは違うつながりが生まれる。
③体制	運営委員：21人以上 協力員：21人以上
④実績	実施回数：年1回 参加人数：約1000人 事業費：けやき分55千円
⑤施設	大野田小学校校庭

①事業名	まちづくり局各局（12チームとまちづくり局全体）
②事業概要	けやきコミセン独自のまちづくり事業。この指とまれ方式で、運営委員が1人いて3人以上集まれば、やりたい活動を事業として提案でき、承認されればチームが立ち上がる。現在12チーム（けやきガーデナーズ・けやきあそび隊・よみきかせ紙ふうせん・囲碁の集い・ぱそこん倶楽部・ナイトウォーク・けやき茶社・アートくらぶ・けやき塾・ゲームの会・こもれびひろば・ポッチャの会）がそれぞれの特色ある活動をしている。活動はそれぞれが地域のかたへ参加を呼びかけているのできめの細かいお誘いができる。 ガーデナーズは花いっぱいのもちづくりから発し、週1回の活動によりコミセンの庭は花がきれいと言われている。茶社は男性のカフェで、第3土曜に行い語り合う場として根付いている。こもれびひろばは親子広場として小さな子がいるお母さんが活動の主体となり子育て支援の活動を行っており、親子連れの利用者が増えたように感じる。またフェスタ・まとめの会として活動の照らし合わせ、PRの会も行っている。
③体制	運営委員：0人 協力員：0人
④実績	実施回数：回 参加人数：人 事業費：全体435千円
⑤施設	各々

①事業名	けやき学舎・しゃべり場
②事業概要	創立時より不定期に行っている。日頃の運営や、様々な活動を活発に行っているが、コミュニティのありかたを常に話し合い、何を大事に活動を行うのかを見つめなおすことをしている。運営委員・協力員ほか地域の人の参加もあり、率直な意見を出し合っている。 必ずしも結論がでる話し合いではなく、意見を言う、よく考える、人の意見を聞く力が育つことを目指す。思いがけない気づきがあったり、日頃の疑問が解決したり、学びの場になっている。
③体制	運営委員：1~5人 協力員：1~5人
④実績	実施回数：年2~3回 参加人数：各20人 事業費：3000千円
⑤施設	コミセンの部屋

### (3) コミュニティセンター活動体制

○ 平成30年度時点の運営委員数は55名であり、協力員数は約130名である。

## 2. 評価結果まとめ

### ① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

<b>利</b> 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】施設の使い方等を、書面（掲示物）に頼らず説明している。</p> <p>【工夫している点】コミセン内での禁止事項記載の張り紙は極力少なくし、伝えたいことは言葉で伝え、会話を大切にしている。</p>
<b>新</b> しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】近隣に新たな住宅地ができているが、まだ利用者として巻き込めていない点が課題である。</p>
<b>施</b> 設の利用方法の工夫	<p>【現状】施設が公園に隣接している。窓が広く、学習室に座っている人達も緑に囲まれて勉強するような雰囲気がある。ギャラリーがあり、絵や写真の発表会などを行うことができる。コミュニティルームがあり、だれでも自由にお茶を飲んだりお弁当を食べたりすることができ、一人で来ても心地よくいられる場所にしてある。窓のつくりが開放的で、仕切りをつくらずに利用者と一緒に話をしながら様々なことができるように空間を作っている。</p> <p>【工夫している点】設えの異なる2つのスペースを学習室として提供し、利用者はニーズに応じて使い方を選択できる。</p>
<b>情</b> 報の提供	<p>【現状】年4回コミュニティニュースを発行して、地域にイベント等をお知らせしている。</p> <p>【工夫している点】施設の予約状況をホームページ上で公開している。</p>

## ② 地域におけるネットワーク機能

<p><b>利</b>用者・利用団体と コミセンとのつながり づくり</p>	<p>【現状】地域の諸団体には積極的に関わっている。</p> <p>【工夫している点】地域防災の会を立ち上げたり、福祉の会や大野田地域子ども館推進会議、青少協に運営委員から委員として選出し、その活動を運営委員会で共有している。</p> <p>【特筆すべき成果】3年ほど前に利用者・利用団体に呼びかけ、文化祭・ミニコンサートを開催した。それぞれの活動内容を発表・交流することを通して、利用団体同士のつながりが生まれている。</p>
<p><b>地</b>域とコミセンの つながりづくり</p>	<p>【現状】障害者、高齢者の施設など、地域の多くの組織とつながりを持っている。一方で、幼稚園、保育園とのつながりはまだ薄い点が課題である。</p>

## ③ 持続可能な協議会の運営

<p><b>運</b>営委員・協力員の 人材充実</p>	<p>【現状】運営委員全員が係を担っている。</p> <p>【工夫している点】運営委員全員がそれぞれの適性に合った係を担うことで、やりがいを持って活動できている。</p>
<p><b>持</b>続可能な事業の 実施</p>	<p>【現状】けやきまつり、けやき夏まつり、どんど焼きとむかしあそびの三大イベントでは、実行委員会制をとっている。</p> <p>【工夫している点】運営委員を3つのグループに分け実行委員会を立ち上げている。そのほかに130人程度いる協力員もスタッフとして入り、実行委員会で準備をしている。</p> <p>【特筆すべき成果】実行委員会は20名程度いるため意見がぶつかることもあるが、話し合いをしながら作り上げる中でチームワークや協力体制ができて、最終的に組織のチームアップにつながっている。</p>
<p><b>活</b>発な協議会運営</p>	<p>【現状】まちづくり局というチームを設けている。個々のチームが様々なアイデアを出し合ってそれぞれプロジェクトを立ち上げている。</p> <p>【工夫している点】まちづくり局は運営委員が1人、合計3人以上いればチームとして成立し、活動をする上でのハードルを下げている。</p> <p>【特筆すべき成果】まちづくり局は新たに地域活動を行いたいと考えている人が自由に取組を行える場になっている。そうした活躍の場を設けることで、やりがいを高め、運営委員への関心の拡大と定着の推進につなげている。</p>

#### ④ 適正な運営

- 「④適正な運営」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 会則や利用の決まりに沿った公平な運営
<input type="checkbox"/> 個人情報の保護
<input type="checkbox"/> 事業計画に沿った運営
<input type="checkbox"/> 経費削減と予算の適正な執行

#### ⑤ 施設・設備の管理

- 「⑤施設・設備の管理」単位で小括コメントを記載する
- ~~~

項目
<input type="checkbox"/> 異常時の市への連絡・報告
<input type="checkbox"/> 訓練の実施
<input type="checkbox"/> 防火管理者の設置
<input type="checkbox"/> 備品台帳

### 3. 総括及び今後期待すること（評価委員会よりコメント）

#### 【評価結果の総括】

- ~~~
- ~~~

#### 【今後期待すること】

- ~~~
- ~~~